

広島市植物公園見どころ案内

ミツマタ (ジンチョウゲ科) 中国、ヒマラヤ原産です。枝が3つに分かれて出るので名がつけました。上質の紙の原料になり、紙幣に使われます。黄色い花が咲きました。

福寿草 (キンポウゲ科) 黄色い花が咲いています。でも、お天気のよいときしか開きません。開花には15℃が必要だとか。咲いていても、日が陰り、花の温度がさがると閉じてしまいます。

ユキワリイチゲ (キンポウゲ科) 秋に葉が出て早春にうす紫の花が咲きます。雪の季節に葉があるので雪割りの名がつけました。晴れると開花し、雨や曇りの日は閉じます。

シクラメン・コウム (サクラソウ科) 原種のシクラメンです。岩の間に愛らしいピンクの花が咲きました。

ハレボルス・アトルレンス (キンポウゲ科) クロアチア、スロベニア原産の黒花のクリスマスローズです。濃色の園芸品種作りに貢献しています。

ヒスイカズラ (マメ科) フィリピン原産の、青い花をつけるつる植物です。大温室2階の一番奥に長い花房がぶら下がっています。咲き始めたばかりです。つぎつぎと咲いて5月初めまで楽しめます。

クリスマスローズ (キンポウゲ科) ベゴニア温室の前の花だんに歩道ができました。クリスマスローズの園芸品種がたくさん植えられています。珍しい黄花や八重咲きもあります。

登竜梅 (バラ科) 日本庭園のしだれ梅につけられた愛称です。品種名は藤牡丹枝垂れ。ピンクの八重咲きで、大きな滝のように枝が二段にしだれている姿の美しい梅です。

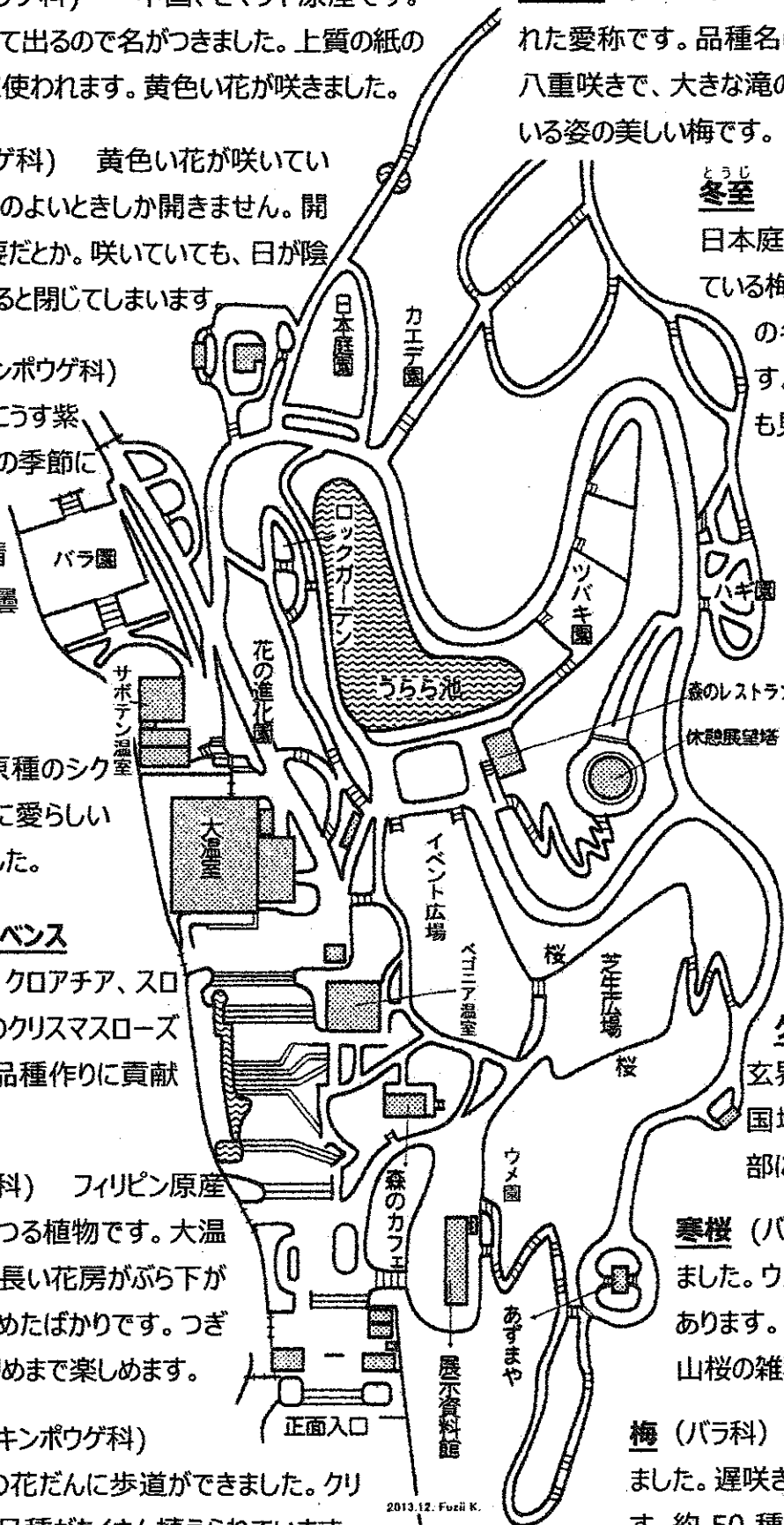
冬至 八重寒紅 (バラ科) 日本庭園に、紅白の対で植えられている梅が満開になりました。白梅の冬至と紅梅の八重寒紅です。茶室のそばにある白加賀も見ごろになりました。

サンシュユ (ミズキ科) 中国原産の花木。実を薬とするため、早くに朝鮮半島に広まったとか。サンシュユは生薬名。日本へも江戸時代に朝鮮半島から薬として伝わりましたが、黄色い花や赤い実の美しさから、庭木として全国的に広まったそうです。別名は春黄金花。

ゲンカイツツジ (ツツジ科) 玄界灘を囲む、九州北部、中国地方、対馬、朝鮮半島南部に分布するツツジです。

寒桜 (バラ科) 早咲きの桜が咲きました。ウメ園に近い斜面の中ほどにあります。ほんのり紅色で、寒緋桜と山桜の雑種と考えられています。

梅 (バラ科) ウメ園の梅が見ごろになりました。遅咲き種をのぞいて、ほぼ満開です。約50種100本が急斜面に植えられているので一望に見渡せてきれいです。



2013.12. Fuzii K.